

海外日本研究・国際対話事業（独立行政法人国際交流基金運営費交付金）

基本情報

組織情報	府省庁	外務省					
	事業所管課室	外務省 大臣官房 文化交流・海外広報課					
	作成責任者	石井秀明 鈴木律子					
	その他担当組織	--					
基本情報	独立行政法人	国際交流基金					
	予算事業ID	018744	事業開始年度	2003		事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業		
関連事業	--			主要経費	その他の事項経費		
セグメント単位 の考え方	財務諸表におけるセグメントのうち、運営費交付金に関係する5つ。						
概要・目的	事業の目的	我が国に対する諸外国の理解を深め、国際相互理解を増進し、および文化その他の分野において世界に貢献し、もって良好な国際環境の整備並びに我が国の調和ある対外関係の維持発展に寄与する。					
	現状・課題	【現状】 ・国際文化交流に関する専門的な知見を活用し、中長期的な視野の下で、国際文化交流を実施。 ・国際文化交流を担う機関や人材と幅広いネットワークを構築。 ・在外公館と連携することで、外交上の重要地域・国を踏まえ、機動的・戦略的に事業を展開。 【課題】 ・国・地域毎の現状・課題認識に即した方針・計画の立案と事業実施。 ・地域別の事業方針に柔軟に対応する予算・人員体制の調整。					
	事業の概要	各国・地域の日本研究状況及び日本研究振興のためのニーズを把握し、長期的な視点から対日理解の深化及び対日関心の維持拡大に資するよう、海外の日本研究者、日本研究機関の支援を行う。また、日本と各国・地域の各界各層にわたる信頼醸成及び相互理解促進のため、共通の関心テーマや国際的重要課題について、対話・共同研究、人的交流事業を実施・支援するとともに、そのための人材育成に資する事業の実施・支援を行う。					
	事業概要URL	https://www.jpf.go.jp/					
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分	
	独立行政法人通則法	平成十一年法律第百三号		--	--	--	
	独立行政法人国際交流基金法	平成十四年法律第百三十七号		第十二条	--	--	

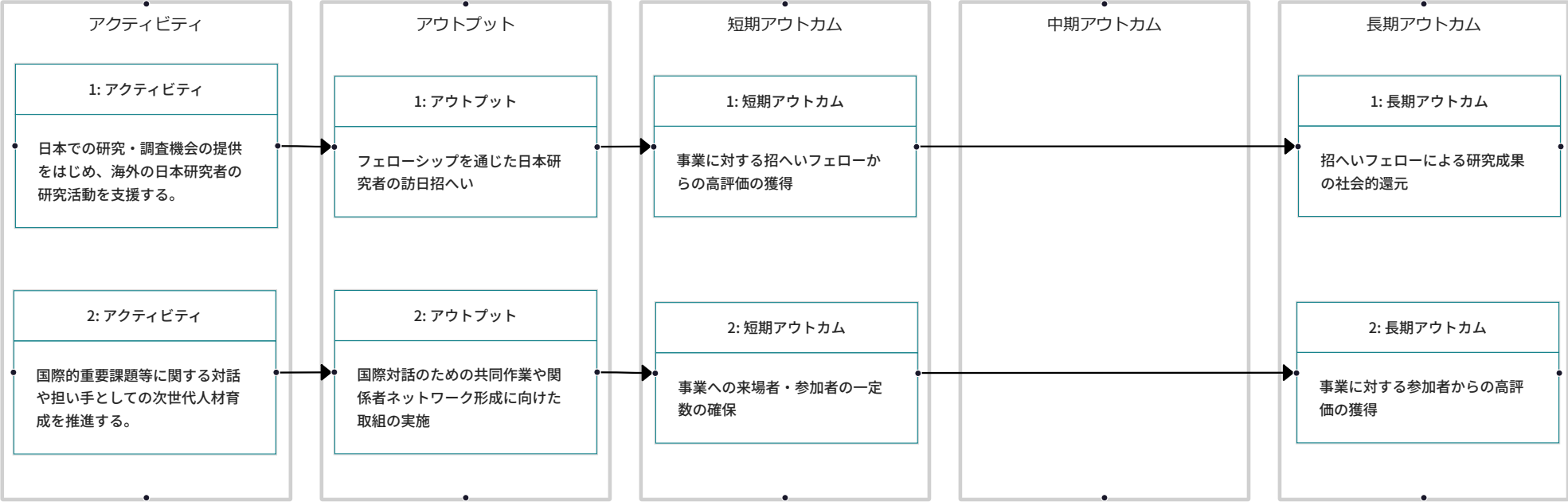
関係する計画・ 通知等	計画・通知名	計画・通知等URL
	--	--
備考	--	

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)					2022	2023	2024	2025	2026見込み	
	経常収益	予算額	運営費交付金	当初予算	926,000	940,000	909,262	869,984	--	
				補正予算	--	200,000	--	--	--	
				第1次補正予算	--	200,000	--	--	--	
				第2次補正予算	--	--	--	--	--	
				第3次補正予算	--	--	--	--	--	
				第4次補正予算	--	--	--	--	--	
				第5次補正予算	--	--	--	--	--	
		執行額	運営費交付金			875,000	1,175,157	--	--	--
			補助金等			--	0	--	--	--
			その他			2,559,000	3,608,255	--	--	--
	計			3,434,000	4,783,412	--	--	--		
	運営費交付金収益化の割合				25.5%	24.6%	--	--	--	
	運営費交付金収益化基準				業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準	--	
	経常費用	予算額			2,382,000	1,926,000	2,168,356	2,236,509	--	
執行額			1,834,000	1,822,855	--	--	--			
執行率			77%	94.6%	--	--	--			
その他特記事項	--									

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 1-1-1-1

アクティビティ	日本での研究・調査機会の提供をはじめ、海外の日本研究者の研究活動を支援する。				
アウトプット	活動目標	フェローシップを通じた日本研究者の訪日招へい		活動指標	招へい人数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(人)	0	0	0	0
	活動実績／成果実績(人)	217	122	132	--
 後続アウトカムへのつながり	招へいしたフェローがフェローシップ終了後も効果的で発信力の高い研究活動を継続するためには、フェローシップ期間中に充実した研究活動を実施できたことが不可欠であるため、フェローが期間中の活動を「有意義」だったと評価することを効果発現の第一ステップとして短期アウトカムとして設定。				
短期アウトカム	成果目標	事業に対する招へいフェローからの高評価の獲得		成果指標	フェローアンケート（5段階）において、「有意義」項目で上位2つの評価を得る割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	第5期中期目標において定められた関連指標
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	目標年度 2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(%)	80	80	80	80
	活動実績／成果実績(%)	100	100	100	--
	達成率(%)	125	125	125	--
 後続アウトカムへのつながり	フェローがフェローシップ期間終了後も研究活動を継続し、発信・発表を行うことが本プログラムのねらいであるところ、フェローシップ終了後3年以内の1人あたりの平均成果発表件数（論文引用実績やメディア発信を含む）を、長期アウトカムの成果指標として設定。				

長期アウトカム	成果目標	招へいフェローによる研究成果の社会的還元			成果指標	フェローシップ終了後３年以内の学者・研究者フェローの１人あたりの平均成果発表件数（メディア発信含む）
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	第5期中期目標において定められた定量指標
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	最終目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	3	3	3	3	3
	活動実績／成果実績(件)	4.9	6.6	4.68	--	--
	達成率(%)	163.3	220	156	--	--

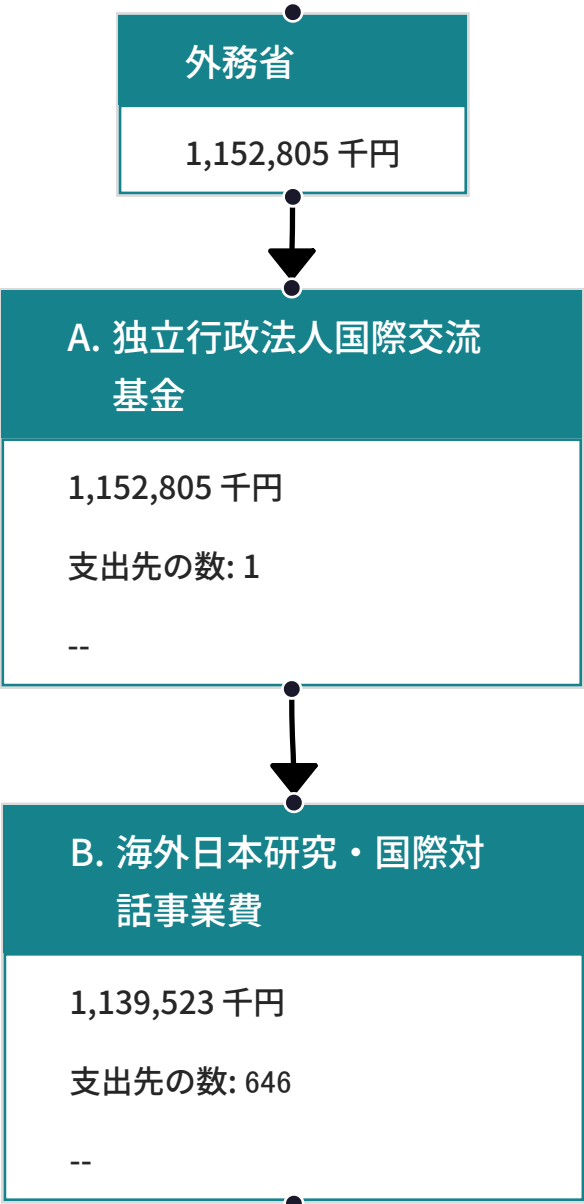
アクティビティからの発現経路 2-2-2-2

アクティビティ		国際的重要課題等に関する対話や担い手としての次世代人材育成を推進する。				
アウトプット	活動目標	国際対話のための共同作業や関係者ネットワーク形成に向けた取組の実施		活動指標	実施件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	
	活動実績／成果実績(件)	104	103	132	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	本事業は、対話やネットワーク形成の機会を通じ、日本の文化・社会的背景に関する諸外国の理解を進めるとともに、日本と諸外国双方の知見や経験を発信・共有し合うことをねらいとして実施するものである。その目的達成・成果獲得は、対話事業やネットワーク形成への参加者（裨益者）の確保と拡大が第一歩となるところ、その数を短期アウトカムとして設定。					
短期アウトカム	成果目標	事業への来場者・参加者の一定数の確保		成果指標	参加者数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	第5期中期目標において定められた関連指標	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	目標年度 2024年度	2025年度	
	当初見込み／目標値(人)	0	0	0	0	
	活動実績／成果実績(人)	25,997	31,216	26,604	--	
	達成率(%)	--	--	--	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	各対話事業の関係者・参加者が当該事業から受けた印象が、周囲への波及効果と各個人の未来の活動に影響を及ぼすとの観点から、各事業の参加者への影響力（好影響）を測ることが本活動の目的達成度の測定となるため、各事業に対する参加者の評価を長期アウトカムとして設定。					

長期アウトカム	成果目標	事業に対する参加者からの高評価の獲得			成果指標	参加者アンケート（5段階）において、「有意義」項目で上位2つの評価を得る割合	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	第5期中期目標において定められた関連指標	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	最終目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(%)		80	80	80	80	80
	活動実績／成果実績(%)		95.7	98	97	--	--
	達成率(%)		119.6	122.5	121.3	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--					
	URL	--					
	該当箇所	--					

点検・評価

独法所管部局による点検・改善	点検結果	事業仕分け及び独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針の指摘事項のフォローアップ並びに契約監視委員会の点検結果に基づく改善措置等を通じて、真に必要な優先度の高い事業を効率的に実施し、成果を上げている。
	目標年度における効果測定に関する評価	--
	改善の方向性	引き続き、各種点検結果に基づき必要な改善措置を行い、真に必要な優先度の高い事業の効率的実施に努める。



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	A	独立行政法人国際交流基金		1,152,805	1	--		
		支出先名		支出額	法人番号			
		独立行政法人国際交流基金		1,152,805	3011105003801			
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		運営費交付金交付 運営費交付金交付		1,152,805	--	--	--	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	B	海外日本研究・国際対話事業費		1,139,523	11	--		
		支出先名		支出額	法人番号			
		E a s t－W e s t C e n t e r		80,036	9999999999999			
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		企画参画助成：JFIPPネットワーク・フェローシップ その他(助成金)		80,036	--	--	--	
		支出先名		支出額	法人番号			
		株式会社エヌオーイー		57,837	8010001129037			
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		国際航空券手配及び付帯業務委託契約 随意契約（企画競争）		57,504	3	0	--	
		令和5年度日ASEANユース・フォーラム国内移動手配 業務委託契約 随意契約（少額）		77	1	--	--	
		令和5年度日ASEANユース・フォーラム国内移動手配 業務委託契約 随意契約（少額）		77	1	--	--	

	令和5年度日ASEANユース・フォーラム国内移動手配 業務委託契約 随意契約（少額）	70	1	--	--
	令和5年度日ASEANユース・フォーラム国内移動手配 業務委託契約 随意契約（少額）	45	1	--	--
	令和5年度日ASEANユース・フォーラム国内移動手配 業務委託契約 随意契約（少額）	32	1	--	--
	令和5年度日ASEANユース・フォーラム国内移動手配 業務委託契約 随意契約（少額）	32	1	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
豪州国際問題研究所		33,095	9999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	企画参画助成：JFIPPネットワーク・フェローシップ その他(助成金)	33,095	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
欧州大学院大学		22,742	9999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	現代日本理解特別プログラム その他(助成金)	22,742	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
西鉄旅行株式会社		20,160	2290001009530		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	国際航空券手配及び付帯業務委託契約 随意契約（企画競争）	20,160	3	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
カリフォルニア大学サンディエゴ校		16,020	9999999999999		

	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	現代日本理解特別プログラム その他(助成金)	16,020	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社日本旅行		15,069	1010401023408		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	北京大学現代日本研究センター博士第17期訪日研修事業国内 接遇業務委託契約 一般競争契約（最低価格）	9,228	2	80.5	--
	次世代日本研究者協働研究ワークショップ事業（第5回）に 係る国際航空券手配及び国内接遇業務委託契約 随意契約（不落・不調）	5,841	3	97.6	--
支出先名		支出額	法人番号		
パーソルテンプスタッフ株式会社		14,179	1011001015010		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	人材派遣契約 随意契約（企画競争）	14,179	8	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
テキサス大学オースティン校		10,996	9999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	日本研究基盤整備 その他(助成金)	10,996	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
ヨーロッパ日本研究協会		10,078	9999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	日本研究ネットワーク強化助成 その他(助成金)	10,078	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		

		その他		859,311	--		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		その他 その他(その他)		859,311	--	--	--
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額
	B	E a s t－W e s t C e n t e r	企画参画助成：JFIPPネットワ ーク・フェローシップ	助成金	JFIPPネットワーク・フェローシップ事業 に対する助成		80,036
国庫債務負担行 為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

2023年度においては、国から国際交流基金へ海外日本研究・国際対話事業費として交付された1,152,805千円と、事業実施における都合のため支出時期が前年度より繰り下がったことによる運営費交付金債務の繰越分749,467千円を合わせた合計額から支出した総額は、1,139,523千円となった。

差額の762,748千円は、事業実施における都合のため支出時期が2024年度に繰り下がったことによる運営費交付金債務の繰越分777,788千円と執行超過の15,040千円との差であり、執行超過分については他セグメントの交付金残額が充当される。

※表示単位未満の四捨五入のための各項目の積上げと合計額の表記が一致しない場合がある。

※ 2 国際交流基金の決算が 6 月であるため、2023年度の実績を記載。